

コロナ支援・確定申告
何でも相談窓口

0120-22-0000 (平日午前10時～午後4時)
京商連事務局が対応し、各民商に相談をつなぎます

京商連News

発行 京都府商工団体連合会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入
函谷鉦町78番地
京都経済センター4階409

電話 075(353)3551 FAX 075(353)3552
http://www.kyoshoren.gr.jp/
E-mail: info@kyoshoren.gr.jp

1部10円(購読料は民商会費に含まれています)

消費税減税

インボイス実施中止

納税者の権利の擁護・発展を

共同の輪を広げ、悪政の転換で 中小業者の経営危機打開を!

京商連
62回
総会



京商連は、5月28日午後1時より、京都アスニーにて第62回定期総会開催しました。新型コロナウイルス感染拡大により書面決議となった第59回総会以降4年ぶりに会場出席を基本とした総会とし、Zoom参加の5民商を含め役員・代議員146人が出席。16人の来賓の出席を頂きました。コロナ感染も考慮し、午後からの全体会のみ総会となりましたが、今後1年間の運動方針等を採用し、新役員を選出しました。

総会では最初に来賓として出席頂いた京都総評議長の堀川憲さん、京都都企業組合連合会会長の大島喜好さん、日本共産党京都府会議員の迫祐仁さんの3人から挨拶を受けました。

京商連・久保田憲一会長は、総会方針案を提案。インボイス実施中止の取り組みでは、各民商が旺盛に学習会に取り組み、署名を中心に実施中止の世論を広げてきたこと、5つの自治体の議会がインボイス実施中止(延期)を政府に迫る意向を示していること、影響が大きく反対の声が広がっていること、組織拡大では、5つの分野全てで現勢を後退させたことを報告。沖繩県連の経験にも学び、県連拡大推進委員会の定例開催や「何でも相談会」の粘り強い継続した取り組み、コロナ禍で開催が弱まっていた支部役員会や班会の開催を強め、組織建設の強化を提起しました。

インボイス実施中止を求める 議会請願に取り組み



与謝民商 福井 康喜さん

与謝民商でもインボイス実施中止の実現を重視して取り組んでまいりました。宮津市・与謝野町・伊根町の3つの自治体の議会請願を昨年12月に行いました。そのうち与謝野町で意見書が採択されました。会長が議員をしていますが、可決することが出来た。この背景として、年間売上が100万円前後という賃機業者に課税業者になれとい

見書の採択がされたことなど、この1年の取り組みを紹介し、実施中止に向けていっそう運動を広げようと呼びかけました。

経営交流は民商の魅力



中京民商 馬場 雅規さん

中京民商がこの1年間、特に力を入れてきた活動を紹介いたします。ひとつ目は経営交流会です。コロナ禍で集まることが出来ず、オンラインで実践されるなか、オンラインでの飲み会を企画して、商売につながるテーマを設けて始めたのが「中商・商い塾」です。

この「商い塾」では昨年、婦人部・青年部の共催で経営セミナーを4回開催し、今求められているテーマに絞って企画しました。これらのセミナーは参加して終わりではなく、オンラインで実践報告や意見感想の交流を継続して行っているのも特徴です。今年に入ってから、商工新聞に取り上げられた全国の会員をオンラインでゲストに招き、異業種交流を進めています。



京商連共済会 西村 英弥さん

大手生命保険会社がコロナ入院の給付を途中でやめる中、全商連共済会は、自主給付の強みを生かして、制度改善をしながら給付に努めてまいりました。京商連共済会はこの1年間で1961人の方に8089万7千5百円の給付を届けてきました。大腸がん検診は、951人が受診されました。結果は陽性で精密検査が必要な方が実に16.3%にもなっています。

大事な健康診断活動 皆の力で共済会を大きくしよう

ふたつ目は、中京民商創立70周年を記念して出版した『中京民商 商人・職人 生活史』です。この本の出版は、全て会員の力で進めてまいりました。方針案にもあるように、こうした活動が民商の魅力だと思っています。「生活史」を作る際には、中京の経験話に伺いたいと思っています。

新役員紹介

第62回定期総会は、三役6人、常任理事30人、理事39人、会計監査2人を新たに選出しました。新三役を紹介します。

会長	久保田憲一 (東山・再)
副会長	源 進一 (丹後・再)
副会長	山内 敬夫 (八幡・再)
副会長	松家 幸治 (中京・再)
副会長・会計	国府 久雄 (西京・再)
事務局長	小原 義弘 (上京・再)

